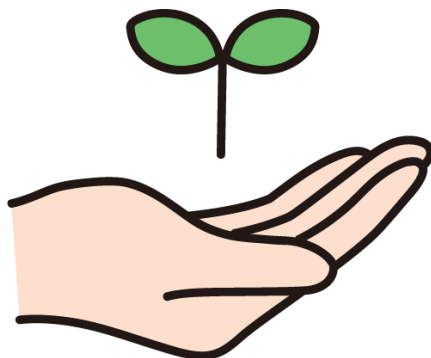


長崎大学 子どもの心の医療・教育センター

令和7年度（2025年度）

子どもの心の支援にかかわる 高度人材育成プログラム



受講者募集

受講期間：令和7年4月から令和8年3月まで
(テスト受験期間：令和7年4月から令和8年1月まで)

子どもの心の医療・教育センターは、長崎県内の子どもの心の支援を目的とし、平成28年10月に長崎大学に開設されました。当センターでは、地域と連携した子どもの心の高度人材育成およびネットワークの構築を目指した取り組みを行っています。

「子どもの心の支援にかかわる高度人材育成プログラム」は、現在受講対象を全国に拡大し取り組んでいます。

本件に関する
問い合わせ先

長崎大学 子どもの心の医療・教育センター

✉ e-mail kodomonokokoro@ml.nagasaki-u.ac.jp

🖨 HP <https://www.cme.nagasaki-u.ac.jp>

▼センターHP▼



子どもの心の支援にかかわる高度人材育成プログラム

長崎大学 子どもの心の医療・教育センターでは、発達障がい等による子どもの心の問題を支援する一策として、子どもにかかわる専門職の支援能力向上・キャリアアップを目指し、教師や保育士、療育関係者等に発達障がいや特別支援教育、医療・福祉的な支援に関する教育プログラムを提供しています。

● プログラムの概要

本プログラムは、長崎大学の規程に基づく履修証明プログラムです。

子どもの心の問題を早期に的確に把握し対応する能力、関係機関や保護者と連携する能力を身に付けることを目指します。



■ 学習は**全てeラーニング（オンライン）**で実施します。

インターネットを利用し、受講サイトに公開された講義動画を視聴して学習を進めていきます。就労されている方でも時間や場所にとらわれず、自分のペースで受講することができます。

講義動画を視聴（各講義 約60分）

Iコース 40講義

■ Aコース・Bコース・Cコースの計3コース編成

- ・発達障がいや精神障がいのタイプや特性に関すること
- ・様々な課題を抱えている子どものアセスメント
- ・支援方法 ・関係機関の役割や連携 など

サイト上で
テストに回答

各講義
80点以上で合格
(選択問題)

各コースの修了者には、**長崎大学から履修証明書（修了証）**が発行されます。

<修了要件>

受講コースの全講義を視聴および、全講義のテストに合格すること。

テスト受験期間：令和7年4月1日から令和8年1月31日まで。

※履修証明書の発行手続き上、3月末までではありませんのでご了承ください。

● 受講資格

- 高卒以上の学歴がある方
- 発達障がいのある子どもに関わっている方
(教師、心理士、保育士、療育関係者、保護者等、資格職種は問いません。)
- ご自宅にパソコン及びインターネット環境がある方
講義動画等はパソコンの視聴を前提に作成されているため、パソコンからのご受講を推奨いたします。(スマートフォンのみでの受講は推奨いたしません。)

● 受講申込について

■ 受講者募集期間

令和6年11月17日（日）13:00～12月1日（日）

■ 申込方法

上記募集期間に当センターホームページに申込フォームを掲載予定です。

長崎大学 子どもの心の医療・教育センター ホームページ

<https://www.cme.nagasaki-u.ac.jp>



■ 受講可否の発表

令和7年1月中旬に申込者へメールにて通知を予定しております。

※受講可否は原則先着順にて選考します。

■ 受講料について

受講料：各コース 33,000円

納入期間：令和7年1月中旬～2月中旬予定

※詳細は受講可否決定後に通知します。

● 受講者の声

教育・福祉・医療・行政・保護者・学生等、様々なお立場の方からご受講いただいております。

最新の動向や支援方法を知ることができてよかった

Aさん/教育関係

オンラインのため、自分の好きな時に学習でき、子供たちに学んだことを活かせた

Bさん/福祉関係

専門職として必要な知識を包括的に学び、整理できる機会になった

Cさん/医療関係

無料

eラーニング体験用ホームページ公開中です！

▼体験版▼

実際に受講する雰囲気を事前に体験することができます。
※講義動画の一部のみの公開となります。※体験にはGoogleアカウントが必要です。

<https://sites.google.com/view/kodomotrial>



無料

当センター講演会 & 本プログラムの説明会を開催します！

● 日時 令和6年11月17日（日）10:00～12:00（オンライン開催）

【第1部】子どもの心の支援にかかわる高度人材育成プログラム受講者募集説明会

【第2部】講演「自閉スペクトラム症児の支援について」

講師：センター長 岩永 竜一郎（長崎大学生命医科学域 教授）

▼申込フォーム▼

<参加申込>：URLまたは右のQRコードから
⇒<https://forms.office.com/r/gnVYbzTet3>

※要申込
11/10(日)×切



令和7年度 講義タイトル・講師一覧 (予定)

● Aコース：発達障がい基礎・アセスメントコース

発達障がいや精神障がいの理解、各アセスメントやその結果の活用方法について学びます。初めての方は、まずAコースを受講されることをお勧めします。



● Bコース：発達障がい児者への支援コース

Aコースで学んだことをもとに、学習面、対人関係面、情緒面、行動面、感覚・運動面など様々な問題への支援方法や、関係機関や保護者との連携について学びます。



● Cコース：発達障がいトピックコース

A・Bコースを受講された方向けのコースです。発達障がいに見られる併存症・随伴症状や、最近の研究に基づく知見、特色のある支援について学びます。



子どもの発達1 乳幼児の発達	吉田ゆり
子どもの発達2 思春期から青年前期の発達	吉田ゆり
知的発達症	北洋輔
限局性学習症	北洋輔
コミュニケーション症	西野章子
注意欠如多動症	岩永竜一郎
自閉スペクトラム症	岩永竜一郎
発達性協調運動症	岩永竜一郎
うつ病・双極症	今村明
統合失調症と前駆状態	今村明
インターネット依存・ゲーム行動症について	三原聡子
大人の自閉スペクトラム症	今村明
大人のADHD	今村明
子どもの「神経症」	今村明
選択性嫉妬	金原洋治
子どものトラウマの理解と対応	八木淳子
てんかん	本田涼子
子どもの高次脳機能障害	太田尾有美
起立性調整障害(仮)	北島翼
発達障害児の保護者支援	吉田ゆり
発達障害のある子どもへの幼児期に必要な支援	堀裕子
発達障害児へのアセスメント概論・スクリーニング	吉田ゆり
知能検査の結果に基づく支援	吉田ゆり
認知発達検査の結果に基づく支援 (K-ABC、K式)	吉田ゆり
発達検査 (KIDS、遠城寺、JMAPなど)	徳永瑛子
言語の評価	西野章子
行動の評価 (適応行動、ADHD評価含む)	岩永竜一郎
ASDの評価	岩永竜一郎
LDの評価	増本利信
学校における合理的配慮 ～通常学級における発達症(障害)支援を中心に～	吉田ゆり
特別支援教育の概要と新しい学習指導要領について	岡野由美子
通常学級における特別支援教育	岡野由美子
個別的教育支援計画・個別の指導計画	増本利信
通級指導教室における支援	増本利信
特別支援学級での支援	木村栄
学校における構造化の実践 ～特別支援学校(知的)高等部での取組み～	前田美和
スクールカウンセラーによる支援	伊藤勢津子
スクールソーシャルワーカーの役割と支援	宮野伸枝
保育所(園)での支援	吉田ゆり
不登校・ひきこもりについて	古重慶彦

応用行動分析	高橋甲介
認知行動療法	田村法子
発達障害児の言語発達支援	西野章子
TEACCH Autism Program®	諏訪利明
ASD児のコミュニケーション支援	服巻智子
感情マネジメント	服巻智子
感覚処理の評価と問題への対応	岩永竜一郎
協調運動の評価と問題への対応	岩永竜一郎
日常生活支援(食事、排泄、睡眠など)	仙石泰仁 他
不登校への対応	河田将一
発達障がい児・者の性発達と性行動	宮原春美
発達障がい児・者のSexuality支援の実際	宮原春美
読み書きの支援1(ひらがな編)	村井敏宏
読み書きの支援2(漢字編)	村井敏宏
見ることの支援1	増本利信
見ることの支援2	増本利信
算数の支援	山田充
算数障害のある子どもへの支援	熊谷恵子
発達障害児のための道具の工夫	鴨下賢一
ソーシャルスキル・トレーニング	田中悟郎
ソーシャルストーリー	服巻智子
ASDに対する応用行動分析と実践(仮)	田中桜子
ペアレントトレーニングの概要	徳永瑛子
適応行動の理解と支援	荻原拓
アタッチメント理論と発達に関する課題	吉田ゆり
発達障害者支援センター	岡田祐輔
医療機関としての取り組み(仮)	柏木充
子どもの精神科での治療	今村明
児童相談所による支援	柿田多佳子
ひきこもりの現状	宮本鷹明
健診における取り組み・保健センターの関わり	岩永竜一郎
親の会の活動、ペアレントメンターについて	内藤貴子 奥野由美 他
発達障害者施策	日詰正文
福祉サービス事業について	廣畝耕一
障害児通所支援事業所における発達障害児支援①	宮野伸枝
障害児通所支援事業所における発達障害児支援②(仮)	赤壁省吾
保育所等訪問支援の取り組み	太田篤志
高等学校における特別支援教育の実践(仮)	山本誠
巡回相談	岩永竜一郎
ピアサポーターとリカバリー	田中悟郎 他

ADOS-2に学ぶASDの発達心理学	服巻智子
ASD児への超早期介入	服巻智子
強度行動障害の理解と支援	井上雅彦
吃音のある子どもの支援	菊池良和
ダウン症や染色体異常による発達の課題がある子どもへの支援	近藤達郎
摂食障害への対応	宮田雄吾
LGBTの理解と配慮(仮)	浜田恵
グフテッドについて(仮)	片桐正敏
リストカットのある子どもへの対応	宮田雄吾
発達障害・愛着障害・トラウマ関連障害	今村明
少年犯罪について	今村明
子どもの睡眠障害と神経発達障害	中井昭夫
発達障害児・者の歯科治療	長田豊
ペアレント・プログラムの概要	辻井正次
発達障害のある子どもの周りへのアプローチ	増本利信
発達障害児者への福祉行政支援	羽辺由紀子
児童家庭支援センターでの支援	高比良亮
児童心理治療施設の機能と役割、そこでの発達障害児への支援	宮田雄吾
発達障害児のさようだいへの支援	田倉さやか
子どもと大人の絆を深めるCAREプログラム	木村一絵
知能検査の結果を支援に活かす～WISC-Vを使って～	木谷秀勝
CO-OP approach™	塩津裕康
読字と感覚・運動	高知脩平
WAVESを用いた視覚認知の評価と支援	奥村智人
LD-SKAIPを用いた支援	奥村智人
発達障害のある子どもへのICT機器を使った支援	高橋知義
学習障害のある児童生徒への英語指導	村上加代子
中学校における通級による支援	高橋範充
高等専門学校における特別支援教育の実践	松尾秀樹
発達障害のある大学生への支援	Peter Bernick
いじめ予防の実現を目指して	和久田学
特別支援教育のための学校コンサルテーション	齊藤宇閑
社会参加と支援	赤壁省吾
発達障害のある方の就労支援	梅永雄二
発達障害を抱える人の職場での軋轢と産業医の対応	藤野昭宏
発達障害とスポーツ	澤江幸則
友だち作りの力を育てるソーシャルスキルトレーニング-PEERS®プログラム-	山田智子
余暇支援について	加藤浩平
自閉症の人へのコミュニケーション支援～PECS®を中心に～	門真一郎
自然な発達の行動介入：JASPER、ESDM	黒田美保

※各コース内の講義編成・担当講師は年度毎に変更が生じます。予めご了承ください。

定員

Aコース：400名
Bコース：300名
Cコース：200名

受講料
各コース
33,000円

複数コース
受講可能！

自分に合った
コースを選択する
ことができる

受講者全員に自由視聴講義を公開中です！

- 子どもの自殺について／中根允文
- 相談支援事業／藤井修
- 虐待を含む養育不全への対応～ASDにおける社会性不全と養育不全への対応～／服巻智子
- 児童発達支援及び放課後等デイサービスにおけるリハビリテーション専門職の取り組み／酒井康年
- 教育委員会の取り組み／下田渚
- 特別支援学校に就労に向けた専門的教育／山淵敬朗
- 発達障害児の緊急時(災害など)の支援／山田裕一

など